



第2学期の教育活動が終わります

多くの行事や学習・生活を通し、大きく成長した皆さんと、2学期の終業式を迎えることができ、大変嬉しく思います。まず、2学期の始業式で話した3つの重点事項について反省をします。

1つ目は、「意欲を持って、主体的に学習に取り組む」ことです。全体的には、与えられた課題については、根気強く取り組むことができましたが、自ら課題を見つけ、自主的・主体的に学習に取り組むことについては、反省すべき点が見られました。受け身の学習ではなく、自ら進んで学習に取り組む姿勢が大切であり、学力向上への一番の近道です。この冬休みに、弱点克服を目指して、主体的に、そして計画的に家庭学習に取り組んでください。

2つ目は、「自らの考えを持ち、それを表現する」ことです。授業での発言・発表はもちろんですが、学級活動や生徒会活動での発表、明輝祭での学年発表、受賞報告などの様子から、自らの言葉で、自分の考えや意見を発表できる生徒が増えてきたと思います。文化面でも、文化部の創作活動や英語弁論大会での表現力豊かな発表、吹奏楽部の合奏祭やアンサンブルコンテストでの心をひとつにした演奏、作文や書道、絵画・ポスターなどの各種コンクールで多数の入賞を果たしたことも、大きな成果のひとつでした。

3つ目は、「集団の一員としての役割を果たす」ことです。ほとんどの生徒が、自分の仕事に責任を持ち、集団の一員としての役割をしっかりと果たすことができました。また、「明輝祭」では、一人一人が関わりを持ち、「協力」と「責任」のもと、みんなが一致団結して、心に残る「明輝祭」を創り上げることができました。

ここで、皆さんに紹介したいことがあります。10月頃の朝の登校時間での出来事です。明健小の1年生が、母親と一緒に登校してきましたが、なかなか母親の元を離れず、ぐずっていました。その脇を通った数名の女子生徒が、一度は通り過ぎましたが、引き返してきて、児童をなだめながら一緒に登校したそうです。このように、思いやりのある優しい行動が取れる生徒がいることを大変嬉しく思ったとともに、周囲の状況を正しく判断し、相手の立場に立って物事を考え、行動できる生徒が増えていくことで、生徒同士の関わりが深まり、もっと居心地のよい学級・学校になるのではないかという思いを強くしました。

さて、明日から、1月9日まで、17日間の冬休みに入ります。今年1年を振り返るとともに、新年の新たな目標を立てる大切な時期でもあります。ぜひ、家庭生活や学校生活での目標をそれぞれ立て、目標を達成するための具体的な行動を掲げて、実行してほしいと思います。特に、3年生にとっては、勝負の冬休みです。冬休みが終われば、私立高校の受験が本格的に始まります。どの受験生にも同じ時間があります。その時間をどう使うかは、自分次第です。この冬休み、「15の春の自己実現」に向け、精一杯、学習に取り組んでください。まさに、「継続は力なり！」です。

また、家族と共に過ごす時間が長くなる休みでもあります。家族と一緒に話し合う機会を大切にして、皆さんの将来について、相談するのもよいことだと思います。

結びに、規則正しい生活とコロナ感染予防を心がけ、メリハリのある冬休みを過ごしてください。そして、病気やけが、事故などなく、3学期の始業式には、全員揃って元気な顔を見せてくれることを心から願っています。

令和4年度 第2学期終業式 校長式辞（抜粋）

-各受賞の記録-

- 第13回 みんな新聞感想文コンクール 中学生の部 入選 飯塚 悠文（2年）
- 令和4年度 福島県アンサンブルコンテスト県南支部大会 銀賞
- 郡山市内中学校冬季バレーボール選手権大会 三部 第3位
- 第41回 全国中学生人権作文コンテスト福島県大会
 - ・優秀賞 宇川小百合（3年） 坂田 愛理（3年）
 - ・奨励賞 石澤 菜々（3年）

